

環境のためのテクノロジー～現在から未来への農業～

北海道大学・農学部・生物環境工学科

〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目
最寄り駅：JR 札幌駅、地下鉄さっぽろ駅・北12条駅
E-mail : kyomu@agr.hokudai.ac.jp

北海道大学は今から 141 年前の 1876 年に創設された札幌農学校に起源を持ち、12 の学部、21 の大学院を擁する総合大学です。「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる 4 つの基本理念を掲げています。

北大農学部 7 学科のうちの一つ、**生物環境工学科**では、「安定的な食料生産技術の提供と自然環境との調和」を教育と研究の目標としています。生産性の向上を追求してきた 20 世紀の農業技術は、結果的に自然環境に対して大きな負荷を与えていました。地球環境の悪化が叫ばれている今、未来を見据えた農業を行う必要があります。自然生態系と調和しながら持続的な生産を行うために、環境負荷の少ない農業を理工学的な見地から研究するのが**生物環境工学**です。本学科では、①土地・水・大気資源の利用と保全、②IT 技術を駆使した農業自動化技術、③農産物の貯蔵と廃棄物の資源化、という 3 つの研究領域、9 つの研究室にわたる幅広い教育・研究を通して、環境への負荷を抑



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

制しながら食料を安定的に生産・供給するという問題に取り組むことのできる人材の育成を目指しています。

本学科 9 研究室のうち、農業農村工学に関係する**地域環境学系**に属するのは、土地と水の管理を扱う「農業土木学」、農業気象と生態系に関わる「生態環境物理学」、土壤の物理性からアプローチする「土壤保全学」の 3 研究室です。

資格取得：測量士補、教員免許（理科（高校）、農業）

就職先：農林水産省、国土交通省、特許庁、北海道ほか各府県、札幌市、旭川市、日本気象協会、三祐コンサルタンツ、NTC コンサルタンツ、サンスイコンサルタント、クボタ、ヤンマー、コマツ、森永乳業、カルビー、全農、ホクレン、農林中央金庫など

北海道大学 農学部 生物環境工学科の研究室

「農業農村工学」に関係する地域環境学系の3研究室

農業土木学

灌漑排水、水文・水環境、農村計画、リモートセンシング

生態環境物理学

農業気象、気候変動、生態系モニタリング

土壤保全学

土壤物理、農地保全、土壤の吸着現象

生物生産工学系の3研究室

ビーグルロボティクス

食品加工工学

循環農業システム工学

連携研究部門の3研究室

生物環境情報学

陸域生態系モデリング

生物生産応用工学